

2019年12月25日

フィリピン・コーラルベイニッケル社が鉱物産業 環境大統領賞で「プラチナム賞（第2位）」を受賞

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 野崎 明）の子会社であるコーラルベイニッケル社（以下「CBNC」）は、このたびフィリピン環境天然資源省より「2019年鉱物産業環境大統領賞（2019 Presidential Mineral Industry Environmental Award, PMIEA）」で「プラチナム賞（大統領賞に次ぐ第2位）」を受賞しました。

本件は金属製錬部門での受賞ですが、プラントにおける環境管理、安全管理、地域環境保護および地域貢献などを総合的に評価された上で決定されます。同賞とあわせて、CBNCは「最優秀鉱山安全賞」を受賞、「鉱業森林計画最優秀賞」では第2位を受賞しています。

また、同じく当社の子会社であるタガニート HPAL ニッケル社（以下「THPAL」）も、「チタン賞（大統領賞、プラチナム賞に次ぐ第3位）」を受賞しました。THPALは、2016年と2017年にも「チタン賞」を、また2018年には「プラチナム賞」を受賞しており、4年連続での受賞となります。また、「最優秀鉱山安全賞」ではCBNCに次ぐ第2位を受賞しました。11月19日から22日までフィリピン・バギオ市で開催された全国鉱山安全環境会議にて、表彰式が執り行われました。

PMIEAは、フィリピンの鉱物産業界において最も栄誉ある賞です。PMIEAにおいてプラチナム賞・チタン賞をそれぞれ受賞したことは、CBNCとTHPALがフィリピンにおいて安全かつ環境に配慮した操業を継続していることが認められたものです。

CBNCおよびTHPALでは、周辺地域のインフラ整備、雇用の拡大、資材の現地調達などを通じた社会貢献、また、環境負荷を最小限に抑えた操業、環境事故の防止、CBNCで実現させたテーリングダムの緑化による生態系の回復など、生物多様性の保全を図りながら、責任ある操業に努めています。

<コーラルベイニッケル社（CBNC）・タガニート HPAL ニッケル社（THPAL）について>

フィリピン南西部のパラワン島にある CBNC とミンダナオ島にある THPAL では、HPAL※技術により、これまで資源化が困難だった低品位ニッケル酸化鉱石からニッケルとコバルトを抽出し、中間原料を製造しています。CBNC では 2005 年から、THPAL では 2013 年から生産を行っておりここで製造した中間原料は当社グループの日本国内拠点へ供給され、近年、電気自動車の普及に伴って注目を集めるリチウムイオン電池の正極材などに利用される高純度なニッケル製品となります。

※HPAL(High Pressure Acid Leach：高圧硫酸浸出)とは

高温高圧のオートクレーブで硫酸を使って酸化鉱からニッケル、コバルトを抽出します。オートクレーブ内の状態をコントロールすることが難しいため、これまで商業的に成功した例がありませんでしたが、制御方法など多くの技術的課題を解決し、当社は世界で初めて商業生産に成功しました。2007 年には「日経ものづくり大賞」、2009 年には「大河内記念生産賞」を受賞するなど、世界トップクラスの高効率な生産を実現しています。

<表彰式の様子>



写真左から:

フィリピン環境天然資源省鉱山局 局長 WILFRED MONCANO 氏

フィリピン鉱業開発協会 会長 Joey Nelson R. Ayson 氏

CBNC/THPAL 社長 神谷 雅博

CBNC/THPAL 副社長（環境担当）Arturo Manto

CBNC/THPAL 課長（総務担当）日向 亮介

以上

本件に関するお問合せ先

住友金属鉱山株式会社 広報IR部 東京都港区新橋 5-11-3 新橋住友ビル

TEL: 03-3436-7705 Eメール: smm_koho@smm-g.com